

【第7回アフリカ開発会議サイドイベント】

人間中心の「法の支配」の実現に向けて -児童労働撤廃の取り組みからの学び-

国際協力機構（JICA）は、8月28日、JICA 横浜にて、ガーナのカカオ産業における児童労働撤廃に向けた取り組みの議論を通じて「法の支配」の理念を再検証することを目的として、TICAD7のサイドイベントを開催しました。

JICA 北岡理事長による開会挨拶の後、ガーナ雇用労働関係省バランス次官、国際労働機関（ILO）アフリカ地域総局小笠原チーフ・テクニカル・アドバイザーがプレゼンテーションを行い、また、児童労働撤廃に取り組むガーナのNGO・CRADA よりブレンボン事務局長、認定NPO 法人ACE 白木事務局長、株式会社立花商店生田取締役、日本貿易振興機構アジア経済研究所新領域研究センター山田グループ長がパネルディスカッションに登壇しました。



「法の支配」についてスピーチする JICA 北岡理事長
パネルディスカッションの様子

北岡理事長からの開会挨拶では、人間の安全保障の観点から、アフリカにおける「法の支配」を実現するためには、特に社会的弱者（子ども、女性など）の保護とエンパワメントに重点的に力を入れる必要があると強調しました。小笠原アドバイザーからは児童労働撤廃に向けた国際的な動きが紹介されました。また、バランス次官より、児童労働撤廃に向けた国としての義務を履行する上での課題などについて報告されました。

続いて、日本と関連の深いガーナのカカオ産業に焦点を当てたパネルディスカ

セッションが行われました。児童労働撤廃に向けた活動について、NGOによる現場での取り組み、企業の取り組み、ビジネスと人権の観点などについて事例紹介と活発な議論が行われました。

最後に、政府、企業、NGO、市民である私たち一人一人にできることを実践していくために、その土台となる日本国内のプラットフォーム立ち上げの構想が会場内で共有され、議論の締めくくりとなりました。

■本イベントの登壇者

【開会挨拶】

- 北岡伸一 JICA 理事長

【発表者】

- 小笠原稔 ILO アフリカ地域総局チーフ・テクニカル・アドバイザー
- キジト・バランス ガーナ政府雇用労働省次官

【パネリスト】

- ナナ・ブレンポン CRADA（ガーナ NGO）事務局長
- 白木朋子 認定 NPO 法人 ACE 事務局長
- 生田渉 株式会社立花商店東京支店支店長 取締役
- 山田美和 日本貿易振興機構アジア経済研究所新領域研究センター法・制度研究グループ長

【モデレーター】

- 小林洋輔 JICA 産業開発・公共政策部ガバナンスグループ参事役

■関連する SDGs ゴール :

